

# 合格体験記

氏名 H.Y

## 【合格した自治体（校種・教科）】

兵庫県（小学校）

### ①いつから勉強したか？また、どんな勉強から始めたか？

大学3年の11月から勉強を始めました。最初は教職ナビの先輩方が開いてくれる面接練習に参加し、面接の勉強から始めました。一般教養や教職教養は3年のナビの冬合宿以降に本格的に勉強を始めました。

### ②あなたのオススメの教材とは！？

東京アカデミーの参考書、時事通信社の教員採用試験過去問シリーズ「教職教養の過去問」「一般教養の過去問」、協同出版の「兵庫県の専門教養 小学校」「兵庫県の教職教養 一般教養」等を使用していました。

### ③とっておきの勉強法

学生時代は全国過去問を解き、わからなかったところを東京アカデミーの参考書で補うという勉強法でした。崖ナビの時は、自分が理系科目が苦手だったので、東京アカデミーの参考書の理系科目のところを繰り返し暗記していました。

### ④1日に何時間勉強していたか？

学生時代は平日では一日に4～6時間、休日は8時間程度勉強していました。崖ナビの時は勤務であまり時間が取れず、平日に3～4時間程度やっていました。勉強場所は学生時代、崖ナビとも図書館6階でした。

### ⑤息抜きの方法は？くじけそうになったときは？

少し息抜きしたい時は友達としゃべり、がつつり息抜きしたい時は休日にサッカーを子供に教えたり、サッカー審判をして勉強から距離をおくようにしていました。

### ⑥どの自治体を受けたか？

大学時代は大阪府と愛知県、神奈川県を受験しました。

崖ナビでは地元の兵庫県のみ受験いたしました。

### ⑦⑥を踏まえて、それぞれの自治体の面接や筆記（専門含む）などをどのように対策していたか？

学生時代は各都道府県で一般教養・教職教養があったので、まずは教職教養を勉強し、次に一般教養を勉強していました。面接試験もあるので、ナビの面接練習には積極的に参加し、他ナビの面接練習にも参加し、先生方の講評をメモしていました。崖ナビの時には、兵庫県の一次試験が一般教養のみだったので一般教養（理系科目）をひたすら勉強し、2次試験での面接試験のために崖ナビの面接練習に参加していました。

### ⑧ゼミ（授業）や就活と教員採用試験の兼ね合いは？

ゼミは毎回参加していました。ただ卒論への取り掛かりが遅く、結局卒論をかかずに別の授業の単位で卒業しました。教師になりたいと思っていたので、就活はしていません。

### ⑨バイトやボランティアはどうしていたか？

バイトは3年の夏休みにやめ、勉強に集中できるようにしました。ボランティアで教育現場を知り、経験を得ることが大切だと思っていたので、学校へのボランティアは大学3年～大学4年の卒業まで週2回特別なことがない限り必ず行くようにしていました。

## ⑩大学生活中にやっておいた方がいいこと！

自分のやりたいことをやりつくしておいた方がいいと思います。勤務しだすと色々と仕事が増え、自分のやりたいことができなくなっていくます。後悔しないようにやりたいことを見つけ、やっておくことが必要です。

## ⑪ナビの良かった点は？

同じ目標を持った友だちが多くいたことです。私は自分に甘かったので、くじけた時や逃げたくなった時に頑張る他のナビ生を見て、もう一度頑張ろうと思うことができました。また辛いときに話をできる友達がいることは非常に大きなことだと思います。

## ⑫あなたはどんな先生でありたいか？

いつも子どもの成長を考え、行動できる先生になりたいと思っています。児童が成長する上で、守らなければいけないことを破ったり、人を傷つけたりした場合には本気で叱り、指導することも必要でしょう。児童が居場所を求めている時には温かく寄り添ってあげることも必要でしょう。自分が関わる児童に対し、常にその子のことを考え指導を行っていきたいです。

## ⑬これから教員採用試験を受ける先生の卵たちへ！

私は教職ナビに入っている中で、毎日の活動で子供たちの前に立ってしゃべる練習ができました。面接練習では、実際に教育現場に立った時に必要な保護者対応や教師としての動き方を学び、役員として動く中で組織の中での動き方を身につけることができました。

ただこれだけでは今の自分になることはできなかったと思います。自分が困っている時いつも支え助けてくれた仲間が存在があって協調性を学び、ボランティアで先生方の指導や様々な小学生・中学生を見れたことで教育現場の厳しさを感じました。また自分が今まで育ってきた環境やサッカーを通じて得たもの全てが今の自分を作り上げてくれていると思います。みなさんも自分らしさを大切に、これから子供に信頼されるいい先生を目指して自分磨きをしていってください。

これから教員採用試験を受ける方々は教員採用試験がどのようなものかわからず、恐怖すら感じるかもしれません。遠い目標にやる気が出ず、勉強に打ち込めなかったり、面接練習でいつも同じ課題を抱え、悩んだりすることもあるでしょう。「自分て成長できてるのかなあ」と考えることもあると思います。

けれど周りには同じ悩みや恐怖や課題を持った仲間がいます。困ったときに相談できる仲間がいます。そのような仲間があなたのそばにたくさんいるということがもうすでに他の教員採用試験受験者よりも有利に働いています。大きなアドバンテージを持って、これから目標に向かって後悔だけはしないように頑張っていきましょう。そして、どんな結果が出ても一年後には目標に向けて一生懸命頑張れた自分をほめてあげましょう。